

新 評 論

2018

3

No.281

発行所 © 新 評 論 2018年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜

伝説の労組仕掛け人の仕事と足跡をたどりつつ、労組の今日の意義を平易に解説。「組合」「スト」への意識が変わります！

オルグ! オルグ! オルグ!

チェーンストアの労働組合はいかにしてつくられたか

本田一成

◆ジャンル:労働運動/労使関係/労働組合史



1974年4月、自らの暮らしを守るため、全ダイエー労組(12支部・約2000人)がストに突入した(本書より/提供:ダイエーユニオン)

本書脱稿後の二〇一七年二月二〇日、一人の男が逝った。佐藤文男、享年九二歳。日本で最も多くの労働組合を結成し、労働組合員を増やした「オルグ」である。イオンやイトーヨーカドーなど、日本のチェーンストアのほとんどに現在労組があるのも、佐藤の仕掛けによるものだった。

であることの意味を考えることもない。だが、給料を得て生活する人にとっては、いかに労働条件や労働環境を向上させ、暮らしを守るかは死活問題となる。職場で直面する諸問題を解決する最も有効な手段は、労働組合しかあり得ない。

佐藤に初めて会ったのは二〇〇八年十一月、この時、一生懸命働く人びとに幸せをもたらし職業が存在していることを知り、亡くなる年まで交流した。一九五〇〜二〇〇〇年代の独自の手法で労組をつくり続けたヒストリー。仲間、ライバル、弟子たち、つくった労組から育ったオルグたちが別の労組をつくりまくったストーリーにロマンを感じてしまう。

一般の人がオルグの仕事を知ることにはめったになく、多くのひとが労働組合員

このように労組の衰退が著しいわけだが、労働組合員は約一〇〇〇万人もいるのだ。その全員が労組の役員候補だ。労組の活動を一生の職業にする人も、そうでない人も、オルグたちの足跡に目を凝らそう。労働環境だけでなく、生活を救う手段を認識する原点が本書にある。

(ほんだ・かずなり)

ISBN978-4-7948-1088-5 3月刊
四六並製 予三八四頁 予二八〇〇円

著者 1965年生まれ。法政大学大学院社会科学研究所修士課程修了。博士(経営学)。日本の労働組合の衰退による集团的労使関係の消失傾向の行き先に危機感を抱く。主著に『チェーンストアの労使関係』『主婦パート』『渋谷らしさの構築』など。

特報 第21回「国際開発研究 大来賞」受賞

主催：(財)国際開発機構(FASID)

「近代化」は女性の地位をどう変えたか

受賞のことば

このたび、「国際開発研究 大来賞」を受賞させていただいた。この賞は、故大来佐武郎元外務大臣を記念して、一九九七年に創設されたものである。大来氏は、一九六〇年代から南北問題や開発途上国の開発援助に対して活動してきた国際的かつ著名なエコノミストである。まだご存命の頃、何度か国際セミナーのお手伝いをさせて

いただいた。国際開発研究がひとつの学問領域として成立するのかどうか、という議論が続いているなか、このような賞があることは、国際開発に従事する者にとって大きな励みになる。

今回の受賞作品「近代化」は女性の地位をどう変えたか——タンザニア農村のジェンダーと土地権をめぐる変遷」は、アフリカ農村女性の土地権という地味なテーマを扱っている。読者は非常に限定的だろうということは十分に想定できた。そのため、せめて表紙くらいは楽しげなものにしたい

と思う、カバー用としてタンザニア固有のティンガティンガ絵画をダルエスサラーム在住のアーティストに特注した。

本書を読んでくださった方々からは、女性たちによる自律的な取



2018年2月1日、FASIDセミナールーム(東京・港区)で行われた表彰式・記念講演会の模様

り組みが、このような形でアフリカの農村で起きているとは知らなかった、とても新鮮で興味深い内容だったと概ね好評だった。また、開発協力の仕事をしながら、よくこれだけのデータや生の声を現場に行って丹念に集めてきて感心した、というお褒めの言葉もいただいた。

調査がいったん終了すると、なかなかタンザニアの農村に行き続けることが難しくなるため、今年はぜひまた訪問してこの研究に協力してくれたタンザニアの農村女性や灌漑地区の農民の方々にお会いし、今回の成果を共有したいと思っています。本書の最後には政策的な提言もあるので、ぜひそれが実現されるようタンザニア政府の関係者にもロビイングしたい。が、青い海とエキゾチックな古い街並みのザンジバル島でインド洋からの風に吹かれたということが本音かもしれない。

調査がいったん終了すると、なかなかタンザニアの農村に行き続けることが難しくなるため、今年はぜひまた訪問してこの研究に協力してくれたタンザニアの農村女性や灌漑地区の農民の方々にお会いし、今回の成果を共有したいと思っています。本書の最後には政策的な提言もあるので、ぜひそれが実現されるようタンザニア政府の関係者にもロビイングしたい。が、青い海とエキゾチックな古い街並みのザンジバル島でインド洋からの風に吹かれたということが本音かもしれない。

調査がいったん終了すると、なかなかタンザニアの農村に行き続けることが難しくなるため、今年はぜひまた訪問してこの研究に協力してくれたタンザニアの農村女性や灌漑地区の農民の方々にお会いし、今回の成果を共有したいと思っています。本書の最後には政策的な提言もあるので、ぜひそれが実現されるようタンザニア政府の関係者にもロビイングしたい。が、青い海とエキゾチックな古い街並みのザンジバル島でインド洋からの風に吹かれたということが本音かもしれない。

「国際協力ジェンダー研究」の最新成果

慣習的な土地法や既成概念に阻まれ、女性が土地を自己名義で所有・相続することは難しい。一方、タンザニアの農村では、女性の土地権が経時的に増加している。女性たちは、幾多の弊害を乗り越えつつも、押し寄せる「土地権の近代化」の波に乗り、自らの手に土地の権利を獲得できている。女性たちの土地権の向上は、貧困削減だけでなく、女性のエンパワメントの達成にも大きく寄与している。「ジェンダー視点に立った国際協力」が一層、求められている昨今、本研究の成果を通じて国際協力に関わる研究者・実践者にとって今後何が求められているのかを、共に考える。

好評刊

ISBN978-4-7948-1050-2



A5上製 三三八頁 四六〇〇円

近代化は女性の地位をどう変えたか

タンザニア農村のジェンダーと土地権をめぐる変遷

田中由美子



アフリカ農村女性の権利向上に向けて

国際協力ジェンダー研究の最新成果

特別寄稿

「SA9キャンペーン」立ち上げの経緯について

SA9代表幹事 大森美紀彦

新年早々の1月6日東京新聞の第一面に紹介された国連総会にむけた「第9条を支持せよ(=SA9)キャンペーン」

「Campaign for Article 9 to be Seconded in the UN General Assembly」は、ドイツ人平和歴史学者クラウス・シルヒトマン氏(1987年初来日)、そして長年の友人である上原稔男氏、その上原氏が2015年3月にご紹介下さった阿部一智氏、そして私・大森の「4人体制」で出版しています。全員、埼玉・



日高市に在住し、ここを拠点に活動を行っています。阿部氏は新評論でもアラン・ド・リベラ著『中世知識人の肖像』『理性と信仰』(いずれも新評論刊)等数々の翻訳を手掛けている方で、西洋の歴史や文化に造詣が深い方です。初対面からその上品で静かな佇まいと語り口に魅了され、以来研究会や映画会の活動を共にしてきました。

私は2016年4月に新評論から『被災世代へのメッセージ』——これまで、そしてこれから／「単身者本位社会」を超えて」という本を上梓しています。これからの時代の日本の国是を平和憲法と脱原発にするために、日本人々はどうのよう生き方を変えていかなければいけないかを示唆した本です。シルヒトマン氏とは、2016年11月6日付の東京新聞に掲載された同氏の紹介記事(9条は米国の押し付けではなく、日本側の発案であったと主張)を読み、昨年5月にご自宅に伺い面談しました。氏は日本国憲法第9条をこよなく愛し、国連総会で「第9条を支持する決議」を採択する必要性を説かれました。拙著の方向とも大いに重なり、手を携えていこうと意気投合しました。

『被災世代』へのメッセージ

●「自国の安全を守るには自国の自衛権の一部を国際機関に委譲し、その傘下に入るが必要だ。この国連の安全保障観を日本国憲法第9条は正しく継承してきた。」

●日本は9条をもつことにより、他国にない抑制的な自衛権の運用を可能とした。

●平和的手段による国際紛争の解決を目指す9条の存在を世界に発信することは、9条をもつ国の市民の務めである。国連総会で現行9条を支持する決議の採択を目指す。

「これまで、そしてこれから／「単身者本位社会」を超えて」 大森美紀彦

「どうして日本の社会はこうなっちゃったのですか」

ISBN978-4-7948-1034-2

四六並製 二五六頁 一八〇〇円

現代社会用語集

入江公康

「あたりまえ」を問いかえす「概念の武器」としての決定版レキシコン。
四六変形並製二〇八頁 一七〇〇円

2/20刊予定
ISBN978-4-7948-1070-0

現代社会
用語集

Einige Wörter
zu Beginn des

人江公樓

148のキーワードを手
思考の冒険にでかけよう

超人氣連載 ついに書籍化！

【参考文献】 郭建明等. 3,4,5-三甲氧基苯胺的合成与用途. 化学通报, 1999, 22(1): 10-11

絶対平和論

菊地昌実

〔日本は戦ってはならない〕
明治維新以来の日本の歩みから
「現実的知性」のありかを考える。
四六並製 二四二頁 一五〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1084-7

絶対平和論
ikkuichi Masami
菊地昌実

日本は戦ってはならない

古来、すべての戦争は
“自衛”を名目に行われた

资料来源：根据作者调查，结合地方统计资料整理而成，如有缺漏，
未予标注的“数据”均为一概性估计值，仅供参考，不作为法律依据。

《写真記録》これが公害だ

林えいだい

〔北九州市「青空がほし」運動の軌跡〕
反骨の記録作家の原点であり、公
害闘争史の発端をなす運動の全貌
A5並製 一九二頁 二〇〇〇円

「朝日新聞」他紹介
ISBN978-4-7948-1064-9

[illegible]

著者 Peter HENNIGKE ヴァンパーター
ル気候・環境・エネルギー研究所前所長
Paul J. WEIERS ヴァンパーター大学教
授
校岡田大吾 日本国際経済連動研究所所長

福島核電事故を経た
エネルギー転換
『ドイツの特殊な道か、それとも世
界の模範か』 3.11福島第一核電事
故の教訓を総合的に検証し、地球規
模の「エネルギー転換」の現実的道筋を
示した世界最高水準の比類なき研究。

ISBN978-4-7948-1008-7 近刊
A5並製 予三三四頁 予三八〇〇円

新しい力

共同通信社編

〔私たちが社会を変える〕 社会の閉塞感をうち破る50の物語。共同通信の人気連載企画が一冊の本に！
四六並製 三三〇頁 二四〇〇円

「信濃每日新聞」他紹介
ISBN978-4-7948-1072-4

新しい力
 現代若者列伝
 意識・行動力・社会影響
 新たなものが社会を変える

「神奈川新聞」紹介
ISBN978-4-7948-1081-6

[illegible]

《写真記録》関門港の
女沖仲仕たち
 林えいだい

【近代北九州の一風景】 魂の作家
 が遺した唯一無二の記録！約一五
 ○点の貴重な写真を中心に、明治
 期以来の港湾労働の実態と女たち
 の近代を鮮やかに描き出す。

ISBN978-4-7948-1086-1 近刊

菊並製 予一九頁 予二〇〇〇円

著者 一九三三年關門港春町生まれ。記録
 作家。一九三九年九月一日没。『写真記録』
 『刀洗』など『機軸事件』など『戦争』朝
 鮮人強制労働、公害をのぞく歴々の実実を掘
 り起しこし経歴。死の床でのお作を書き離した

非戦・対話・NGO

大橋正明・谷山博史・宇井志緒利
金致然・中村絵乃・野川未央 編

〔国境を越え、世代を受け継ぐ私たちの歩み〕 NGO非戦ネットの有志12人による「生の証言集」
A5並製 三三〇頁 二六〇〇円

フェアトレードタウン

渡辺龍也編

「誰も置き去りにしない」公正と共生のまちづくり」理論と先駆例を紹介する世界初の入門書。
四六並製 三一八頁 二五〇〇円

近 刊
ISBN978-4-7948-1085-4

**フェイトレード
タウン**
「誰かの手をかりにしない」
「反乱と共生のまじりつり」
渡辺 龍也 著

地球上のどこでも、
だれもか認のあい、
話かしよう社会をこの手に！
世界最初の
入門書

反乱フェイトレードタウンと共生のまじりつり

増補版「考える力」は こうしてつける

「ウィルソン・ジャン」／吉田新一郎 訳
初版以来、教員を中心に多くの読者を得てきた良質な教育書の待望の最新版。この一冊で授業が変わる！
A5並製 二二四頁 二〇〇〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1087-9



増補版「読む力」は こうしてつける

優れた読み手のスキルを徹底解剖し、その伝授法を指南するロングセラー、待望の新版。
A5並製 二二〇頁 二〇〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1083-0



「学びの責任」は 誰にあるのか

NDフレイシャー／吉田新一郎 訳
「責任の移行モデル」で授業が変わる。生徒の学びの「質」と「量」が飛躍的に伸びる四つの要素を紹介。
四六並製 二八八頁 二二〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1080-9



小説 写真甲子園 0.5秒の夏

菅原浩志案／樫辺 勤 著
ひと夏のフォト・グラフィティ。「日本一の写真部」をめざす高校生たちの成長ストーリー。映画公開中
四六並製 二三四頁 一六〇〇円

『月刊CAPA』紹介
ISBN978-4-7948-1078-6



ハイン 地の果ての祭典

アン・チャップマン／大川豪司 訳
「南米フエゴ諸島先住民セルクナムの生と死」 稀有な身体彩色で名高い通過儀礼を詳説。写真50点。
A5上製 二八〇頁 三〇〇〇円

大好評 2刷
ISBN978-4-7948-1067-0



植民地化の歴史

マルク・フェロー／片桐 祐 訳
「征服から独立まで（一三二〇世紀） 数百年におよぶ「近代の裏面史」から、現今の収奪構造を読み解く。
A5上製 六四〇頁 六五〇〇円

『新潟日報』紹介
ISBN978-4-7948-1054-0



やっぱり滋賀が好き

「心の観音を求めて」
「滋賀好き」読者待望の、「びわ湖検定」でよみがえる」続編！
四六並製 一三三頁 一八〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1079-3



飯田線ものがたり

太田朋子・神川靖子
「川村カネトがつないだレールに乗って」 祝！全線開通80周年。秘境駅をつなぐレールに伝えた物語があった。
四六並製 一八〇頁 二〇〇〇円

『朝日新聞』他紹介
ISBN978-4-7948-1074-8



甚川浩志 『職業は忍者——激動の現代を生き抜く術、日本にあり!』

忍者の活動を通して 日本の歴史や文化伝えたい

■「西多摩新聞」/2017年10月20日

「忍者は戦わないんですよ」と話すのは、あきる野市養沢で「野忍庵」を主宰する甚川浩志さん(47)。

「忍者の本質は情報戦・心理戦にあります」と力説し、人を殺す「殺法」よりも、人を活かす「活法」が忍術の本質であり、こうした「忍びの心と技」は現代に応用できる部分が沢山あるという。

サラリーマン時代に行っていた仕事をベースに04年独立し、調査・監査とリスクマネジメント支援を柱にした事業展開を行っていた。

11年の東日本大震災後、「ルールにしばられた組織づくり」は今後通用しなくなるのではと考え、大幅な事業転

換を決意した。これに伴い、

都心からあきる野に移り住み、長年趣味として親しんできた山岳修行や日本武術の要素を組み合わせて開発した忍術体感プログラム「野忍」を立ち上げた。

娯楽を目的としたものではなく、外国人観光客や企業経営者等を対象に、日本人が培ってきた「和」の思考や、自然と共生する「山里文化」を伝えたいと甚川さん。

「野外環境を活用し、現代人が失いつつある感性を、自然の中で磨くことで、ルールに縛られず自分で考え行動できるようになる」とも話す。

あきる野、檜原、日の出地域は、関東一円を統治してい

あきる野 甚川浩志さん

た北条氏と、西の強豪甲斐武田氏の国境にあたるため、中世戦国時代には「風魔」を代表とする忍びが活躍していたのではないかと考える甚川さん。

「忍び」の活動に従事したのは、小田原を本拠にする風魔党の他、地元の地侍を中心とした武装集団や修験者、柚人といった人々。武将の力が直接及ばない山岳地域や国境地帯では、こうした小集団による「自治」が重要視され、

情報収集力を中心とした「総合生存術」が発達してきた。その忍者の知恵が現代に応用できると話し、「今後忍者の活動を通して日本の歴史や文化を学び、さまざまな世代

の人に伝えていきたい」と語った。

この8月に、「職業は忍者——激動の現代を生き抜く術、日本にあり!」を著した。第1章「なぜ、忍者になったのか」、第2章「子どもの教育における忍者の役割」、第3章「外国人が忍術を学ぶわけ」、第4章「本気の忍術修行」、第5章「企業における忍術の活用」、第6章「地域社会と忍者」、第7章「忍者の未来」から成る。本の中には西多摩でなじみ深い地名なども出てくる。また、現代に活かせる忍術の知恵が丁寧に描かれ、ビジネス書としての側面もあわせ持つ一書になっている。

四六並製 二四二頁 二〇〇〇円

『日刊ゲンダイ』他紹介
ISBN978-4-7948-1076-2



本を売る

愚直なる書店員として

本というものはその本性上、一冊で売れるものではない。必要に迫られて買うものではないからだ。乱暴に言って、無くても生きていけるものを売るので、どうすれば少しでも手にとっていただけるのか。我々は最大限知恵を絞っている。

お客様が求めている本を在庫しているのは当然として、目的の本に加えて一冊でも多くお会計していただく為に、隣り合わせる本の組み合わせを考える。ここに書店員としての力は問われる。テーマに関連性があるか、読者層は一緒か、など頭を捻る。ところでこのとき私には常に念頭に置く言葉がある。

「本が本を呼び、本が棚を呼び、棚が棚を呼び、棚が書店を呼び」(書店の棚、本の気配) 亜紀書房。東京堂書店で店長をなさっておられた佐野さんの言葉だ。書店の本質をずばり言い当てていると思う。そもそも本の並べ方にルールは

ない。その本がどういう本かは読んだ人にしかわからないし、解釈も十人十色だ。だから呼び合う本同士、棚同士の組み合わせの可能性というのは無限に開かれている。また、そうである以上、その組み合わせ一つで売れ方も大きく変わってくる。忘れ去られた古い本ももう一度日の目を見ることがあるだろう。或いはまだ見ぬ新刊によって、これまで思いもよらなかった新たな売場の演出は可能となるだろう。本が売れないことを本のせいにはしたくないし、できない。我々は書店員だ。

昨今書店は、カフェ併設は勿論、SNSの利用など、あらゆる手段を講じている。そういった一冊でも多く本を売するための様々な試みがいくらか素晴らしくとも、肝心の売場が魅力に欠ければそれも意味をなさない。今後書店がどんな新しい形をとったとしても必ず立ち返る場所、それが先の佐野さんの言葉であり、その実践である。

ジュンク堂書店新潟店

西村仁志

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(11・29~1・7)

●書評 ●紹介 ●関連記事

11・29 ㊤女子高生のための大学進学バイブル2018『AO・推薦入試の黄本』(著者談)

11月号 ㊤月刊教育研修『スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む』

11/中 ㊤出版ニュース『職業は忍者』
2017秋号 ㊤MYCUL(中央大学図書館)『フクシマ・ノート』(大田美和)

12・1 ㊤市報かみのやま『職業は忍者』

12・6 ㊤日本経済新聞『あなた自身の社会』

12・22 ㊤週刊読書人『ブルーの異端審問』(立林良一)

12・24 ㊤朝日新聞『ハイン 地の果ての祭典』(宮田珠己)

12・25 ㊤神奈川新聞『非戦・対話・NGO』

12月号 ㊤サライ『職業は忍者』

㊤地方自治職員研修『新しい力』

㊤クーヨン『「ようちえん」はじめました!』(著者取材)

㊤フィランソロビー『新しい力』

㊤CAPA『小説 写真甲子園 0.5秒の夏』

12/中 ㊤出版ニュース『グローバル・ジハードのパラダイム』

1・1 ㊤図書新聞『グローバル・ジハードのパラダイム』(立田由紀恵)

1・7 ㊤信濃毎日新聞『「写真記録」これが公害だ』(安岡健一)

2018 winter ㊤ふおとさい『小説 写真甲子園 0.5秒の夏』

本を読む

飯田線ものがたり

還暦をむかえた私は最近、「佐久間ダム その歴史的記録」、そして本書「飯田線ものがたり」という二冊の本に出会いました。先人たちのことを知らずに生きてきた私に、勉強しなさいというメッセージなのか、本書はとてつわりやすい内容で読みやすく、心に爽風が吹きすぎました。現在アルバイトで、飯田―浜松間を結ぶ三遠南信自動車道の工事に携わる会社のお手伝いをしていますが、この地の地質は昔と変わらず難しく、現在も相当な工夫がされています。自分の住む地域の素晴らしさを教えてくれる本をありがたうございました。(浜松市 主婦 南原幸美 60歳)

やっぱり滋賀が好き

私は学生時代を滋賀県内で過ごした。最初は関西の中でも特にこれといった目新しいこともなく、

田舎の平凡な県の一つかと思っていた。だが次第に、大阪や京都に通勤・通学する人たちの多くに住む住宅地であり、関西圏の一角をなすことがわかった。さらに琵琶湖を中心に、周囲に多数の寺社仏閣が建つ、特徴豊かな県であることに気がついた。農業しかり、工場もそこそこあり、だんだんと自分にとって大きな魅力のある県となっていた。現在でもちよつとした旅行でよく滋賀に出かける。それだけ自分をなぐさめてくれる場所になっているからだ。この本は、そんな私をさらに滋賀県へと誘ってくれた。(本巢市 公務員 松浦守仁 58歳)

好評刊

世界遺産マスターが語る 高野山

(自分の中の仏に出逢う山) 三〇〇円
尾上恵治

大雪山 神々の遊ぶ庭を読む

東川明樹/清水敏一・監修 二七〇円
「昔はよかった」と言うけれど

【戦前のマナー・モラルから考える】
大倉重宏 二〇〇〇円

食べへる? 食品セシウム測定データ745
ちだ 三〇〇円

編集部から

日本の労働組合員数。敗戦直後の五〇〇万人台から七〇年代まで右肩上がり増加を続け、九〇年代中盤に最多に達した(一二七〇万人)。その後は下降の一途を辿るのだけれども、新刊「オルグ!オルグ!オルグ!」の著者・本田氏が指摘するごとく、見方によってはさほど減ってはいない。いまだ人口の一割が「組織されている」のだから!労働運動史専攻の社会学者・入江公康氏は、長らく労働者自身の「スト破りマインド」を問題にしてきた。仲間の蜂起を阻む心性はどこから生じるのか。最新作「現代社会用語集」ではその探求が、産業革命期の機械打ち壊し運動から二〇〇〇年代の市場経済批判までを視野に入れつつ、含著豊かに展開される。集団性への問いを深めるに格好の二著。

営業部から

▼基川浩志氏(職業は忍者)著者と深野彰氏(「うしろ」)にみる小田原(著者)の対談イベントが実現!《北条五代×風魔忍者》それぞれ視点からみた小田原と題し、目からウロコの小田原マターが続々披露されま〜!!(日時)2/18日14時(場所)ラスカ小田原6階Umeテラス(定員)50名(先着順)【お問い合わせ先】有隣堂ラスカ小田原店(電話)046512417739【現代社会用語集】刊行記念!入江公康さん×栗原康さんトークショーのお知らせ 1万人以上の学生を惹きつけてきた社会学者と気鋭の政治学者が、現代社会のさまざまな争点をめぐり語り合います!(日時)3/9(金)19時(場所)紀伊國屋書店新宿本店9Fイベントスペース(定員)50名【お問い合わせ先】紀伊國屋書店新宿本店(電話)03-3354-0131

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費をなく、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に「送付」を要します。

入会登録後、弊社刊行に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくごとに、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。

ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくかメール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の入会確認証をお送りいたします。